

(参考) 福島第二原子力発電所 震災前後における原子炉水と使用済燃料プール水の測定結果

原子炉水

<単位> ヨウ素131:[Bq/g] セシウム134,137:[Bq/cm³]

核種 号機	震災後(停止時データ)				震災前(運転時データ)			
	採取日時	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	採取日時	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
1号機	3/14 8:30	N.D. <1.13 × 10 ⁻¹	N.D. <3.83 × 10 ⁻¹	N.D. <1.87 × 10 ⁻¹	3/8 9:25	2.00 × 10 ⁻²	N.D. <1.93 × 10 ⁻¹	N.D. <6.72 × 10 ⁻²
2号機	5/15 9:55	N.D. <2.59 × 10 ⁻² 1	N.D. <5.33 × 10 ⁻² 1	1.82 × 10 ⁻¹ 1	3/1 9:05	1.71 × 10 ⁻²	N.D. <1.84 × 10 ⁻¹	N.D. <8.25 × 10 ⁻²
3号機	4/28 11:50	N.D. <5.04 × 10 ⁻¹	N.D. <8.59 × 10 ⁻¹	N.D. <8.07 × 10 ⁻¹	2/15 9:30	9.03 × 10 ⁻³	N.D. <6.19 × 10 ⁻²	N.D. <5.27 × 10 ⁻²
4号機	4/28 12:20	N.D. <4.00 × 10 ⁻² 1	N.D. <7.49 × 10 ⁻² 1	N.D. <6.38 × 10 ⁻² 1	2/8 9:30	1.07 × 10 ⁻²	N.D. <1.02 × 10 ⁻¹	N.D. <4.82 × 10 ⁻²

使用済燃料プール水

<単位> ヨウ素131:[Bq/g] セシウム134,137:[Bq/cm³]

核種 号機	震災後(停止時データ)				震災前(運転時データ)			
	採取日時	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	採取日時	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
1号機	5/15 10:05	N.D. <3.33 × 10 ⁻²	N.D. <9.36 × 10 ⁻²	2.72 × 10 ⁻² 3	3/2 10:15	N.D. <3.11 × 10 ⁻³	N.D. <5.12 × 10 ⁻³	N.D. <4.92 × 10 ⁻³
2号機	5/15 9:55	N.D. <2.59 × 10 ⁻² 1	N.D. <5.33 × 10 ⁻² 1	1.82 × 10 ⁻¹ 1	3/2 9:30	N.D. <3.49 × 10 ⁻³	N.D. <5.37 × 10 ⁻³	4.10 × 10 ⁻³ 2
3号機	5/15 11:05	N.D. <7.55 × 10 ⁻³	N.D. <1.26 × 10 ⁻²	N.D. <1.21 × 10 ⁻²	3/2 9:45	N.D. <4.08 × 10 ⁻³	N.D. <6.86 × 10 ⁻³	N.D. <5.51 × 10 ⁻³
4号機	4/28 12:20	N.D. <4.00 × 10 ⁻² 1	N.D. <7.49 × 10 ⁻² 1	N.D. <6.38 × 10 ⁻² 1	3/2 10:00	N.D. <2.71 × 10 ⁻³	N.D. <1.54 × 10 ⁻²	N.D. <3.99 × 10 ⁻³

- 1: 2号機ならびに4号機については、震災後の対応として、残留熱除去系により原子炉及び使用済燃料プールを循環冷却していたため、原子炉水及び使用済燃料プール水における値が同一となっている。
- 2: 2号機の使用済燃料プールには、平成9年及び平成14年に燃料漏えいが確認^{*}された燃料集合体(2体)が保管中であり、セシウム137(半減期:約30年)については震災前から検出されている。(*:平成9年5月20日,平成14年11月18日お知らせ済み)
- 3: 1号機の使用済燃料プール(震災後)において、セシウム137が検出されているが、続く7月22日,7月28日の採取・分析では、検出限界値未満であることを確認している。

N.D. : 検出限界値未満